



楽しさ自給率向上ワークショップ

2018年12月2日(日)

主催：鹿児島市（若者未来会議開催事業）

協力：鹿児島大学、鹿児島国際大学、志学館大学
鹿児島県立短期大学、鹿児島純心女子短期大学
鹿児島女子短期大学

お申込締切：2018年11月22日(木)

地域の暮らしと幸せのものさしを考える。

鹿児島市は、若者の視点を生かした魅力的なまちづくりやその担い手となる人材育成につなげるため、若い世代を対象とした“楽しさ自給率向上ワークショップ”を開催いたします。

当日は、コミュニティデザイナーの山崎 亮氏をお迎えした講演と、参加者同士がカジュアルな雰囲気の中で行うワークショップを予定しております。

若い世代が地域に魅力を感じ、生きていくことを楽しむためのアイデアを——。
鹿児島市と市内6大学が連携して実現するワークショップ。

本事業は、第五次鹿児島市総合計画で掲げる「“未来の担い手”若者応援プロジェクト」の一環で行われます。国内の多くの地域が直面する「少子高齢化」、そして「人口減少」といった問題。ここでは、人口流出を抑えるためにも、若者の視点を生かしたまちづくりを行うべく、若い世代からの意見収集と提案、そして、担い手の誕生をサポートする機会を創出します。

第一部の午前中は、自分たちで地域のなかに楽しみを生み出す力を高める「楽しさ自給率の向上」について山崎 亮氏にお話しいただきます。その後、ワールドカフェ方式で参加者が共に語り、「これからの鹿児島市が住みやすくなる、楽しくなる」アイデアを考える第二部へと移行します。なお、ここでのファシリテーター（聞き手）として、地元の大学生も加わります。参加者に近い視点でカジュアルな雰囲気を大切にしながら、より活発な対話の場を目指します。

ぜひ、この機会に、本事業の参加募集及び当日のご取材をご検討いただきますようお願い申し上げます。

講師プロフィール

山崎 亮（やまざきりょう）

studio-L 代表。コミュニティデザイナー。社会福祉士。

1973年愛知県生まれ。大阪府立大学大学院および東京大学大学院修了。博士（工学）。建築・ランドスケープ設計事務所を経て、2005年に studio-L を設立。地域の課題を地域に住む人たちが解決するためのコミュニティデザインに携わる。まちづくりのワークショップ、住民参加型の総合計画づくり、市民参加型のパークマネジメントなどに関するプロジェクトが多い。

著書に『ふるさとを元気にする仕事（ちくまプリマー新書）』、『縮充する日本（PHP新書）』など。

「マルヤガーデンズ」でグッドデザイン賞受賞。



“ 超大都市に人が集まっていくということではない未来を見つけようと思ったとき、ローカルで自分たちの生活や働き方を、自分たちでハンドリングしながら生きていくっていうことが、ひとつの幸せになりうるはず ”

山崎 亮

日本中の若者が超大都市に集まってしまうということが、日本の未来にとって本当に良いことなのか？考えなければいけない時代を僕らは生きているような気がする。

家賃や食べものとかは典型だけど、大都市に行くと、市場経済によって生活にかかるお金がどんどん上がっていってしまう。でも、ローカルでの暮らしは、ある程度それを自分たちでうまく選びながら生きていくことができる。鹿児島のような街で、ローカルで、気心知れたメンバーと、のんびりしながら、生活にかかるお金も自分たちの範疇で、うまく調整できるようにするということが大事だと思うし、それができるのもローカルだ。

ローカルで暮らすということは、職業選択の自由が少ないという懸念もある。それは雇われて働くってことを考えれば、その気持ちも理解できる。だけれど、そんなに恐ろしいことではないから、自分で仕事を作り出すとか、個人事業主として働いてみるっていう選択肢もあっていいと思う。スマートフォンを通じていろんな人たちと関係を持ちながら、生きていける時代なのだから。

僕らの先輩の大半は、雇われて働いてきた人たち（働いている人の約8割が雇用されている）。その人たちにとって「自分で仕事を作ろうぜ」というのはとてもハードルが高いことだし、とてもオススメできないこと。

一方で、人工智能に奪われる仕事がいっぱいあるとも言われている。その奪われる仕事を見ていくと、そのほとんどは、雇われている仕事内容ばかりが人工智能に取って代わられるということになっている。

このあたりに僕は今モヤモヤしていて、超大都市に人が集まっていくということではない未来を見つけようと思ったとき、ローカルで自分たちの生活や働き方を、自分たちでハンドリングしながら生きていくっていうことが、ひとつの幸せになりうるはずなのに、それについて「こうだよ」ってしてくれる先輩が少ない時代を生きている。そして、その可能性について、同世代で語り合う機会も少ない時代を、僕らは生きている。

みんなが大都市に集まってしまうような国のカタチじゃないところを目指すのは、僕らが地域で自分の人生や仕事を、うまく手綱を握って生きていく、自分で調整しながら生きていくために大切だと思う。そんなことのリアリティを感じることができる場、語り合う場を今回作ってくれるらしいので、まずはそこに来てみよう。

将来雇われて働いていくことも、全然良いけれど、頭の片隅に、そうじゃない生き方があるってことを知るきっかけになると思う。同じような気持ちを持つ人たちが集まる場に来て、必ずしもその話を信じ込む必要はないけれど、ひとつの可能性として、そんな生き方や働き方もあるかもしれないと思ってもいいのではないかな。大都市に行って、大企業に務めるといような話とも違うような生き方があるんだなあということを考えてみるっていうことは、悪くない経験なんじゃないかな。

■開催概要

タイトル：楽しさ自給率向上ワークショップ

日時：2018年12月2日(日) 10:00～15:30 (9:30 開場)

会場：鹿児島大学・学習交流プラザ 鹿児島市郡元1丁目21-30

対象：大学生、専門学校生、新社会人など

定員：100名 ※応募者多数の場合は抽選

参加費：無料

当日の流れ：

<第一部：聞く・知る> 10:00～12:00

まちづくり“未来の担い手”育成事業 成果発表

市内の大学生10名が上町地区のさらなる活性化を目指して行なったプロジェクトの成果発表。

ゲストトーク「地域を動かす、楽しさ自給率の向上」

講師：山崎 亮 (studio-L 代表、コミュニティデザイナー、社会福祉士)

<第二部：考える・話す> 13:00～15:30

楽しさ向上ワークショップ

【暮らす】【働く・学ぶ】【遊ぶ・つながる】の3つの場面をイメージしながら、

鹿児島のこれからの話をしていきます

お申込方法：monosashi.work@gmail.com 099-7991-1408 (市村)

上記まで、必要項目(氏名/年齢/電話番号/職業)を記載して送信。

もしくは、下記お申込フォームよりご連絡ください。

お申込フォーム <https://goo.gl/forms/1FmzCmIGJxPXScmN2>

お申込締切：2018年11月22日(木)

サイト：<http://monosashi.work>

主催：鹿児島市(若者未来会議開催事業)

協力：鹿児島大学、鹿児島国際大学、志学館大学、鹿児島県立短期大学、鹿児島純心女子短期大学、鹿児島女子短期大学

一般のお問い合わせ：E-mail monosashi.work@gmail.com

Tel 099-7991-1408 (市村)

広報に関するお問い合わせ：広報担当 四元朝子(サンカイ・プロダクション合同会社)

Tel 080-4157-5531 E-mail contact@sankai-pro.com